

1 調査日 令和5年10月31日（火）～11月2日（木）

2 調査の概要

10月31日（火）

（1）尾道空き家再生プロジェクト（広島県尾道市）

調査内容：法人の概要および空き家再生の活動について

適正に管理されていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を与えていることから、空き家等の活用を促進等するために、いわゆる空家等対策特別措置法が平成27年に施行された。しかしながら、近年、空き家の数は増加を続けており、今後も増加が見込まれることから、空き家対策を強化するため、改正空家等対策特別措置法が令和5年6月に成立・公布されたところである。こうしたことから、県としても県内市町に対して情報提供等の援助を行うなど、引き続き市町とともに空き家対策に取り組む必要がある。

尾道空き家再生プロジェクトは、平成20年に設立され、空き家の再生や空き家バンクの活性化事業などを通して、古い町並みや景観の保全、移住者・定住者の促進による町の活性化、新たな文化・ネットワークコミュニティの構築に取り組んでおり、今後の委員会審議の参考とするため調査を行った。



(2) 水みらい広島株式会社（広島県広島市）

調査内容：民間主体の水道事業の取組について

水みらい広島株式会社は、平成24年に広島県と民間企業（水ing株式会社）の共同出資（出資比率：①設立時：広島県35%、水ing65% ②H31：広島県35%、呉市：3%、水ing株式会社：62%）により設立された公民連携の水道事業会社である。全国初の民間主体の水道事業を展開し、各地の水道事業でも問題となっている収益の減少、設備の老朽化、技術力の低下等の解決を目指している。

滋賀県では、近年、水道用水の給水量は横ばい傾向で安定しているが、今後、更新工事の増加や人口減少に伴う水需要の減少が想定されるとともに、高度化、多様化している課題に対応しながら、経営の効率化を進めるために、民間の優れた取組の導入を検討する必要があることから、今後の委員会審議の参考とするため水みらい広島株式会社の調査を行った。



11月1日（水）

（3）平成筑豊鉄道株式会社（福島県田川郡福智町）

調査内容：地域鉄道活性化に向けた取組について

平成筑豊鉄道株式会社は、福岡県および沿線自治体が出資する第三セクター方式の鉄道事業者であり、福岡県の筑豊地域で運行を行っている。利用者が減少する厳しい経営環境の中、著名デザイナーを活用した車両デザインや地元の食材を盛り込んだフランス料理を提供する観光列車の運行、枕木やつり革のオーナー制度など、様々な取組を行っている。また、平成筑豊鉄道の再生・活性化、営業収支の改善を図るため社長を公募し、2017年に公募社長が就任しており、今後の委員会審議の参考とするため平成筑豊鉄道株式会社の調査を行った。



（4）福岡県警察本部（福岡県福岡市）

調査内容：防犯の取組について

福岡県警察は、県民の安全・安心な暮らしを守るため様々な取組を行っているが、中でも最重点目標の1つとして「性犯罪の根絶」を掲げており、その達成のための1つの手段として福岡県警察防犯アプリ「みまもっち」を運用している。「みまもっち」は性犯罪情報のみならず、様々な犯罪情報を地図上で把握できる、事案発生場所に近づいた場合に通知するなど多様な機能が実装されている。

滋賀県においては、県民の生活スタイルに応じた必要な情報を提供するとともに、自発的な行動変更につなげるための防犯アプリの今年度の導入を予定しており、今後の委員会審議の参考とするため福岡県警察本部の防犯に関する取組の調査を行った。



11月2日（木）

（5）国営海の中海浜公園（福島県福岡市）

調査内容：Park-PEIによる新たな都市公園の魅力づくりについて

国営海の中海浜公園は、北九州地域の広域的レクリエーション需要に対応するため、全国で5番目に設置された国営公園であり、九州地方整備局が共同企業体に公園運営維持管理業務を委託している。国営公園初のPFI事業として、平成28年から海洋生態科学館（マリンワールド）、平成30年からホテル ザ・ルイガンズの運営を開始しており、令和3年から国営公園初となるPark-PFIによる新たな魅力づくりとして、民間事業者がパーク・ツーリズムをテーマにした滞在型レクリエーション拠点「光と風の広場」の整備を行った。「光と風の広場」には、“泊まれる公園”をコンセプトとする公園一体型宿泊施設「INN THE PARK」、巨大アスレチックタワー「シー・ドラグーン」を備えている。

滋賀県の都市公園においても、Park-PFI制度を活用している例があり、今後の委員会審議の参考とするため国営海の中海浜公園の調査を行った。

